

## 「共創力で進む東北プロジェクト」に係る 「情報発信ニーズ」 選定結果（第 2 期第 1 次選定）

- 「共創力で進む東北プロジェクト」は、共創イベント（アイデアソン等）の開催を通じて、東北の復興・創生に係る地域課題の解決に取り組んでいる各種団体の情報発信力の強化や新たなパートナーとのつながりを創出し、地域課題の解決を目指します。
- 自治体、NPO、企業等から情報発信力の強化等を通じて課題解決したいニーズを年間を通じて最大 10 件程度選定し、アイデアソン等を開催して、ニーズに係る解決策の実現に向けて取り組んでいきます。
- 今般、第 2 期第 1 次選定（6 月 30 日締切）として、自治体、NPO、企業等から 10 件の提案があり、2 件の選定をいたしました。
- 第 2 期第 2 次選定（7 月 26 日締切）については、8 月に選定を予定しています。

※「共創力で進む東北プロジェクト」は、平成 29 年度「共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業」の通称です。

### <選定内容>

- リアルタイム流通で農産物を繋ぐ ICT 地域商社事業  
（株式会社 concept-village（共同実施：一般社団法人 Cool Agri））（福島県）
- 地域間交流のコラボレーションによる食やまちのブランド向上  
（さかなグルメのまち大船渡実行委員会）（岩手県）

※各事業の名称については、現時点の名称であり、今後変更になる場合もあります。

（添付資料）

- （別紙）共創力で進む東北プロジェクトに係る「情報発信ニーズ」選定結果（第 2 期第 1 次選定分）
- （参考資料）平成 29 年度共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業の概要



問い合わせ先：  
復興庁総合政策班 永井、高田  
電話： 03-6328-0223

**共創力で進む東北プロジェクトに係る  
「情報発信ニーズ」 選定結果（第2期第1次選定）**

**名称：リアルタイム流通で農産物を繋ぐ ICT 地域商社事業**

**団体：株式会社 concept-village（共同実施：一般社団法人 Cool Agri）（福島県）**

**<情報発信ニーズ内容>**

農家と飲食業界等のダイレクトな流通の増大と、それによる地産地消の促進を目指し、農家の役割を農産物地域商社にまで高められる仕組みを福島から進め、全国的な展開を図る。農家からの高品質な食材等の情報と、納品先である飲食店、ホテル、旅館側からのニーズ情報のマッチングをリアルタイムに進められる ICT ソリューションの構築を行いたい。

**名称：地域間交流のコラボレーションによる食やまちのブランド向上**

**団体：さかなグルメのまち大船渡実行委員会（岩手県）**

**<情報発信ニーズ内容>**

水産資源が豊富な大船渡市と、大船渡市にはない食の地域資源を持つ他地域とのコラボレーションにより、新しいレシピの開発、産品販路の構築、歴史文化を背景とした交流、防災教育での連携等を通じ、ブランド向上のモデル構築を行いたい。また、これらを自治体、NPO、企業といった多様な主体と横断的に進めることにより、相互の人材交流が活発になることを目指す。

以上

## 平成 29 年度共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業について

### 1 概要

「新しい東北」の様々な取組の成果の普及・展開の加速化や、取組の自走化に向けて、地域の取組主体にとって、新たなネットワーク構築や連携先・パートナーづくりのための情報発信力の強化に関するソリューション（課題の解決策）を「オープンイノベーション」手法により、様々な者からアイデアや解決手法の提案を活用して構築するもの。また、本事業の運営や参加者等の動向について、コンテンツ化し、積極的に全国に向けて情報発信を行う。

### 2 事業の流れ

- 1) 東北の復興・創生に関わる情報発信ニーズを最大 10 件程度募集。
- 2) 上記より選定された課題をもとに、共創イベントを 7 月以降全国 10 か所で開催（東北被災 3 県その他、全国各地等での開催を予定。）。
- 3) 共創イベントで生み出した課題解決のソリューションの具現化に対し、最大 300 万円をサポート。
- 4) 共創イベントと並行し、「週次の交流の場（FW:東北 Weekly）」として、都内等で開催。
- 5) 一連の活動をメディアへ、SNS 等で情報発信。
- 6) 年間の成果発表イベントを平成 30 年 3 月東京で開催予定。

以上